

令和2年度 保健体育科 女子 授業充実（改善推進）プラン

昨年度のプランの検証

授業開始時に、本時の課題とめあてを伝えることを徹底した結果、目的をもって授業に取り組む姿勢が多く見られた。目的を持って授業に取り組む生徒が増えた為、より充実した授業内容（グループ学習や課題別学習など）と授業改善に取り組み、各種運動の楽しさ喜びを味わわせ、生涯にわたって運動に親しむ資質や体力の向上を目指して行きたい。

課題（各観点について）

観 点	分 析
運動や健康・安全への 関心・意欲・態度	自分が得意とする運動に対する意欲・関心は高い生徒もいるが、運動することが苦手意識を持つ生徒もいる。体力向上について理解し実践することが困難な生徒が一部にみられる。
運動や健康・安全についての 思考・判断	全体的にすすんで課題解決をはかる活動や、運動の行い方のポイントを意識した練習ができる生徒が徐々に増えているが、話し合い活動などのグループ学習の効果があらわれない生徒も中にはいる。学習カードを各単元で活用し、表現する場を意図的に取り入れていくことが必要である。
運動の技能	体力面では、全体的に全身持久力が低い。持久力を高めるトレーニングに対して辛いイメージが強いようで積極的に取り組む生徒が少ない。投運動の特性を理解し、イメージできない。「できる」「できない」等、運動の二極化が進んでいる。
運動や健康・安全についての 知識・理解	各種目のルールや方法などを、しっかりと理解している生徒が多くなってきた。しかし、その内容を実際の授業やゲームの中で生かせない生徒が多く見られる。

授業改善のポイント（調査結果等を踏まえて）

- ① 授業のめあてや流れを理解させ、充実した授業内容の改善を図る。苦手な種目や辛いトレーニングなどの必要性を理解させ意欲的に授業に参加する態度の育成に努める。
- ② 生徒自身が自分の課題に気付くような助言を行い、仲間やグループでの活動を多く取り入れていく。
- ③ 基礎となる練習を反復して行うことで、技能の定着を図る。
- ④ 種目の特性やルール、技能のポイントを明確に伝え、知識として理解したうえで授業に臨む。

授業改善策

- ① 授業開始時には、本時の課題とめあてを伝え、事例をあげ、目的をもって授業に取り組む姿勢を育てる。
 - ② 聞く態度を育て、簡潔な説明で本時の目指すところとそのための練習方法とポイントを示す。補助として副教材、学習カード、ホワイトボード、評価表を使用し自発的なイメージから実践へと移せるよう助言する。
 - ③ グループでの活動を取り入れ協力して学び合う学習形態を展開する。
- 【1学年】…基礎体力を高めるとともに、グループ活動を組み込みながら協力して高め合う活動を促し、互いに教え合う態度を育成する。また、活動量を増やし体力や技能を高めていけるようにする。
- 【2学年】…1年で学んだことをもとに、練習方法や場の工夫をし、関心を高める。また、目標値を設定した授業を展開することで学習に対する関心、意欲を更に高めていく。
- 【3学年】…2年間学んできたことをもとに、発問やグループ活動等を通して思考的な活動を促しながら、活動量を増やし体力や技能を高めていけるようにする。